

第 **38** 期

中間事業報告書

平成18年4月1日から

平成18年9月30日まで

株式会社 **桑山**

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第38期上半期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）における事業概況をとりまとめましたのでご報告申し上げます。

日本経済は、素材、自動車、家電、IT等の基幹産業を中心に本格回復を遂げており、株価の上昇等、明るい材料が多い昨今ではありますが、宝飾品業界への本格的な需要回帰は遅れている状況であります。

その中であって、私たち株式会社桑山は「総合ジュエリーメーカー」として、常に何をすべきかの気概を持ち、知恵と発想を駆使して需要創造・開拓に専心出来るよう、組織の総合力である営業力、製造力、人事力の増強を一步一步進めております。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長

相原 信雄

営業の概況

(1) 営業の経過および成果

当中間期のわが国経済は、引き続き素材産業、自動車、IT関連産業、さらに金融業界等の企業業績の大幅回復に支えられ、設備投資の増加、労働需給の好転など明るい材料に恵まれた期間でありました。

しかしながら個人消費需要に大きく依存する当宝飾品業界は、こういった企業業績の好循環が宝飾品需要へと回帰してくるものと期待して来たところですが、一部高額商品やアクセサリーにはその兆しは見られるも、消費の中核を担う中間価格帯のボリュームゾーンでは、卸商数社の経営破綻による影響等もあり本格的な回復には至っていない状況であります。

こうした状況を踏まえ当社は営業面では引き続き、与信管理に十分な配慮を励行する一方で、潜在需要を喚起出来る提案型商材の創出等に向け営業部門、商品開発、製造部門、さらには当社グループの総力をあげて対応努力して参りました。さらに10月1日付にて専務取締役管掌下に営業統括を設置し、組織面でも営業部門のさらなる強化を図っております。当社の製品群、提案力等は、着実に市場に浸透しつつあり、事業環境が厳しい中であってもこういった企業努力が結果的に業績の維持、向上に繋がるものとの信念を深めております。

生産面に関しましては、中核的な役割を果たす富山工場とタイ国バンコク市のクリスティジェム社および中国無錫市の無錫金藤首飾有限公司の、質、量両面にわたる戦力化に向けて努力中であり、さらに10月1日付にて専務取締役管掌下に製造統括を設置し、新設の製造技術部、品質保証室と併せ製造部門の有機的な連携を図るべく体制作りを行いました。

当中間期の業績としましては、ネックレス、リング等地金商材やダイヤ商材、提案型商材が好調で売上高は131億18百万円（前年同期比21.1%増）、利益に関しましても、営業利益が5億60百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益は5億48百万円（前年同期比21.7%増）、当中間純利益は2億65百万円（前年同期は減損損失4億54百万円の計上により△2億3百



万円)の結果となりました。

なお当中間期配当は、当初計画通り1株につき9円とさせて戴きます。

品目別の売上高は、以下の通りであります。

ネックレス	52億75百万円 (前年同期比 13.9%増)
ブレスレット	5億25百万円 (前年同期比 25.9%減)
リング	19億2百万円 (前年同期比 29.9%増)
その他	54億15百万円 (前年同期比 34.4%増)

今後の状況に関しましては、北朝鮮問題などによる地政学的リスクや、米国における住宅ブームの終焉、原油価格の高値推移による世界的な企業収益悪化やインフレ圧力、中国経済の持続性に対する懸念増大など、わが国を取り巻く経済環境は、微妙な舵取りが要求されるものと予測されますが、一般的には今後も好調な景況が持続するものと思われま

す。宝飾品業界にある当社は、こういった持続する企業業績の好循環が宝飾品需要へと回帰してくるものと、期待したいところですが、当中間期の状況は今後も継続するとの前提で市場対応して行くべきと、判断しております。

このような状況下、従前より進めてきております、製造力、営業力の強化を組織面でも後押し出来るよう専務直轄の製造統括および営業統括を設置し、製造面ではタイ国クリスティジェム社と中国の無錫金藤首飾有限公司の戦力化を急ピッチで進めており、生産の中心的存在である富山工場と併せ三拠点の製造力強化を図り、営業面では営業企画部のデザイン・企画力の増強と(株)エヌジェーとの企画連携による、商品提案力のシナジー効果を図って市場やお客様のニーズにいち早くお応え出来る体制を整えて参ります。

以上のように市場対応を怠りなく行いつつ、製造力、営業力、さらにはその基本である人事力の充実化を図り、宝飾品業界の中に新規需要開拓と潜在需要喚起に向けて努力して行く所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期末 (平成18年 9月30日現在)	前中間期末 (平成17年 9月30日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金及び預金		1,059,925	1,015,902
受取手形		899,466	896,508
売掛金		3,935,236	3,092,445
たな卸資産		8,804,815	8,632,642
その他		465,412	297,975
貸倒引当金		△ 8,000	△ 9,000
流動資産合計		15,156,856	13,926,474
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建物		1,266,584	1,316,189
土地		5,354,525	5,354,525
その他		437,851	420,529
有形固定資産合計		7,058,960	7,091,244
無 形 固 定 資 産			
投資その他の資産			
投資有価証券		2,590,249	2,323,249
その他		1,278,086	1,452,571
貸倒引当金		△ 60,433	△ 35,515
投資その他の資産合計		3,807,901	3,740,305
固定資産合計		11,510,174	11,427,876
資 産 合 計		26,667,031	25,354,350

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

	(当中間期末)	(前中間期末)
2. 有形固定資産の減価償却累計額	4,093,301千円	3,985,530千円
3. 担保に供している資産		
現金及び預金	500,000千円	500,000千円
建物	914,985千円	924,936千円
土地	5,278,657千円	5,278,657千円
投資有価証券	894,935千円	661,355千円
計	7,588,577千円	7,364,948千円

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期末	前中間期末
		(平成18年 9月30日現在)	(平成17年 9月30日現在)
負債の部			
流動負債			
短期借入金		782,243	734,854
一年以内返済予定借入金		5,700,000	4,950,000
一年以内返済予定借入金		1,213,192	1,322,796
未償還引当金		300,000	300,000
賞与引当金		406,183	199,985
その他流動負債		140,000	120,000
流動負債合計		246,671	229,188
固定負債			
社債		8,788,290	7,856,825
長期借入金		1,700,000	2,000,000
その他固定負債		1,586,447	1,405,006
固定負債合計		64,834	35,102
負債合計		3,351,281	3,440,108
資本の部			
資本金		12,139,572	11,296,934
剰余金		—	3,013,529
利益剰余金		—	2,944,369
利益剰余金		—	180,930
利益剰余金		—	6,563,000
利益剰余金		—	1,162,255
利益剰余金		—	7,906,186
利益剰余金		—	398,583
利益剰余金		—	205,252
資本合計		—	△ 14,057,415
負債・資本合計		—	25,354,350
純資産の部			
純資産			
資本金		3,013,529	—
剰余金		2,944,369	—
利益剰余金		180,930	—
利益剰余金		6,563,000	—
利益剰余金		1,587,087	—
利益剰余金		8,331,017	—
利益剰余金		△ 205,357	—
純資産合計		14,083,559	—
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		443,899	—
評価・換算差額等合計		443,899	—
純資産合計		14,527,458	—
負債・純資産合計		26,667,031	—

(当中間期末)

(前中間期末)

左記に対する債務

短期借入金

5,000,000千円

3,950,000千円

一年以内返済予定借入金

1,113,192千円

1,021,996千円

長期借入金

986,447千円

1,152,006千円

計

7,099,639千円

6,124,002千円

上記の他地金リース債務

3,346,230千円

2,717,630千円

4. 中間貸借対照表に計上したたな卸資産の他に品借りしている金地金等(中間期末時価で換算)

3,346,230千円

2,717,630千円

5. 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ当中間期末及び前中間期末は流動資産の「その他」に含めて表示しております。

6. 保証債務

5,257千円

61,886千円

7. 自己株式

360,828株
(205,357千円)360,728株
(205,252千円)

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	(自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)
売 上 高		13,118,662	10,834,233
売 上 原 価		11,195,938	9,097,492
売 上 総 利 益		1,922,723	1,736,741
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,362,393	1,250,099
営 業 利 益		560,330	486,641
営 業 外 収 益		63,498	68,643
営 業 外 費 用		75,288	104,701
経 常 利 益		548,540	450,582
特 別 利 益		1,375	5,400
特 別 損 失		1,535	459,256
税引前中間純利益(△損失)		548,379	△ 3,273
法人税、住民税及び事業税		405,000	190,000
法人税等調整額		△ 121,695	9,826
差 引		283,304	199,826
中間純利益(△損失)		265,074	△ 203,100
前期繰越利益		—	1,365,356
中間未処分利益		—	1,162,255

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(当中間期)

(前中間期)

2. 営業外収益のうち主要項目		
受 取 利 息	2,714千円	3,610千円
受 取 配 当 金	12,651千円	12,702千円
3. 営業外費用のうち主要項目		
支 払 利 息	42,714千円	39,627千円
4. 特別利益のうち主要項目		
投資有価証券売却益	1,375千円	—千円
退職給付終了益	—千円	5,400千円
5. 特別損失のうち主要項目		
減 損 損 失	—千円	454,410千円
投資有価証券評価損	1,046千円	—千円

中間株主資本等変動計算書

(自 平成18年4月1日
至 平成18年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高	3,013,529	2,944,369	2,944,369
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			
中間純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)			
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—
平成18年9月30日残高	3,013,529	2,944,369	2,944,369

	株主資本					株主資本合計
	利益剰余金				自己株式	
	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年3月31日残高	180,930	6,563,000	1,411,749	8,155,679	△205,317	13,908,260
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△89,736	△89,736		△89,736
中間純利益			265,074	265,074		265,074
自己株式の取得					△39	△39
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						
中間会計期間中の変動額合計	—	—	175,338	175,338	△39	175,298
平成18年9月30日残高	180,930	6,563,000	1,587,087	8,331,017	△205,357	14,083,559

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	537,444	537,444	14,445,705
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△89,736
中間純利益			265,074
自己株式の取得			△39
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△93,544	△93,544	△93,544
中間会計期間中の変動額合計	△93,544	△93,544	81,753
平成18年9月30日残高	443,899	443,899	14,527,458

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日現在)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,619,232	1,516,857
短期借入金	9,008,750	8,408,544
一年内返済予定長期借入金	1,253,192	1,362,796
一年内償還予定社債	300,000	300,000
未払法人税等	412,920	217,878
賞与引当金	175,256	153,000
その他	348,209	323,243
流動負債合計	13,117,560	12,282,319
固定負債		
社債	1,700,000	2,000,000
長期借入金	1,586,447	1,445,006
その他	163,245	130,510
固定負債合計	3,449,692	3,575,516
負債合計	16,567,252	15,857,836
少数株主持分		
少数株主持分	—	—
資本の部		
資本金	—	3,013,529
資本剰余金	—	2,944,369
利益剰余金	—	7,718,752
株式等評価差額金	—	443,221
為替換算調整勘定	—	62,181
自己株式	—	△ 205,252
資本合計	—	13,976,801
負債・少数株主持分及び資本合計	—	29,834,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,013,529	—
資本剰余金	2,944,369	—
利益剰余金	8,125,797	—
自己株式	△ 205,357	—
株主資本合計	13,878,338	—
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	488,996	—
為替換算調整勘定	121,698	—
評価・換算差額等合計	610,695	—
少数株主持分	—	—
純資産合計	14,489,034	—
負債・純資産合計	31,056,286	—

(当中間連結会計期間末) (前中間連結会計期間末)

左記に対する債務

短期借入金	5,021,600千円	3,950,000千円
一年内返済予定長期借入金	1,113,192千円	1,021,996千円
長期借入金	986,447千円	1,152,006千円
計	7,121,239千円	6,124,002千円

上記の他地金リース債務

	3,346,230千円	2,717,630千円
4. 保証債務	5,257千円	61,886千円
5. 自己株式	360,828株 (205,357千円)	360,728株 (205,252千円)

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	(自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)
売 上 高		14,250,926	12,537,211
売 上 原 価		11,546,353	10,015,822
売 上 総 利 益		2,704,573	2,521,388
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,151,392	1,984,379
営 業 利 益		553,180	537,009
営 業 外 収 益		103,080	69,207
営 業 外 費 用		93,880	139,668
経 常 利 益		562,380	466,548
特 別 利 益		1,435	6,400
特 別 損 失		1,535	460,923
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		562,280	12,026
法人税、住民税及び事業税		411,970	208,022
法人税等調整額		△ 122,923	18,311
差 引		289,046	226,333
中 間 純 利 益 (△ 損 失)		273,233	△ 214,307

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(当中間連結会計期間) (前中間連結会計期間)

2. 営業外収益のうち主要項目		
受 取 利 息	4,627千円	1,441千円
受 取 配 当 金	16,691千円	15,907千円
3. 営業外費用のうち主要項目		
支 払 利 息	64,799千円	59,242千円
4. 特別利益のうち主要項目		
貸倒引当金戻入益	一千円	1,000千円
退職給付終了益	一千円	5,400千円
投資有価証券売却益	1,375千円	一千円
5. 特別損失のうち主要項目		
減 損 損 失	一千円	454,410千円

中間連結株主資本等変動計算書

(自 平成18年4月1日
至 平成18年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	3,013,529	2,944,369	7,942,300	△205,317	13,694,882
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△89,736		△89,736
中間純利益			273,233		273,233
自己株式の取得				△39	△39
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	183,496	△39	183,456
平成18年9月30日残高	3,013,529	2,944,369	8,125,797	△205,357	13,878,338

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	622,403	99,840	722,244	14,417,126
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△89,736
中間純利益				273,233
自己株式の取得				△39
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△133,406	21,857	△111,549	△111,549
中間連結会計期間中の変動額合計	△133,406	21,857	△111,549	71,907
平成18年9月30日残高	488,996	121,698	610,695	14,489,034

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(平成18年9月30日現在)

代表取締役会長	桑	山	征	洋
代表取締役社長	相	原	信	雄
専務取締役	桑	山	貴	洋
取締役	小	林	勇美	雄
取締役	久	野	五	男
常勤監査役	内	山	浩	一
監査役	大	石		豊
監査役	窪	田	久	信
監査役	松	田	良	行

執行役員

(平成18年9月30日現在)

執行役員	松	本		秀
執行役員	比	護	博	幸
執行役員	大	黒	泰	義
執行役員	好	田	秀	実
執行役員	本	郷	一	彦

会 社 の 概 況

(平成18年 9月30日現在)

設 立	昭和45年 4月14日
資 本 金	3,013,529,087円
発行済株式総数	10,331,546株
株 主 数	1,410名
従 業 員 数	323名 (他にパート社員等113名がおります。)

主要な営業所および工場

- ①本社・営業部 東京都台東区
- ②支店 山梨県甲府市、大阪府大阪市、
福岡県福岡市
- ③工場 富山県魚津市
- ④卸店舗 東京都台東区他合計3ヵ所

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金	毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞 なお、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (http://www.kuwayama.co.jp/) に掲載いたしております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

